



壁面装飾12カ月展



1月6日（金）～16日（月）の期間中、本学の記念館で壁面装飾12カ月展を開催いたしました。これは幼児教育学科1年次生の必修授業科目「工作A」の授業課題の一環で製作した作品の展覧会です。壁面装飾とは、季節や年中行事などをテーマとして保育者が行う幼稚園や保育園の室内装飾のことです。各作品は、90cm×180cmのパネルを園舎室内の壁に見立て、自然物や生活廃材を用いたり、1年次に学習した各種造形技法や造形素材を使って、割り当てられた月にふさわしい作品となるようグループ製作しています。



水面に顔が映って驚かたつむりを表現しています。子どもたちは顔を覗くなど、興味津々でした。

箱から飛び出すピクリサンタさん♪先生が箱を開けると子どもたちは大喜びしていました。



●1年生鑑賞●

他のグループの作品を見て工夫点や良い点をメモしたり、話し合ったりして学び合いました。



お花見の楽しそうな様子が伝わってくる！お弁当が立体的でおいしそう！

●附属幼稚園児観賞●

年少児は年長児や先生と一緒に見て楽しみました。年中児は気に入ったところを発表してクラスのお友達みんなで共有しました。立体的な装飾について触れたいなったり、仕掛けを見つけて嬉しそうな顔の子どもたちの姿が見られました。



サンタさんのピクリ箱だ！



お手紙が出てきたよ！何て書いてあるのかな？



展示期間終了後の作品は、附属幼稚園で壁面装飾として活用されるほか、図書館、幼児教育学科でも展示し活用します。

